

# ちあきほほえみポスト

## あなたの声をお届けください！

事業所利用委員会は、地域のみなさんに信頼されるより良い事業所に育てるため、友の会と職員が協同して活動しています。委員会の取り組みとして、事業所の訪問や利用者さんから投函の

あった「ちあきほほえみポスト」の内容を確認し、改善策の検討や提案をしています。

ちあきほほえみポストは、良かったことや職員に対する意見など、明るい内容も記載しやすい様



千秋病院に設置された投書用紙



統合対策本部で組織的行動を確認

## 震度7の地震を想定して

## 大規模災害訓練

なお、ちあきほほえみポストの投函箱は千秋病院、介護老人保健施設ちあき、特別養護老人ホーム・ちあき（第二含む）に設置されています。

今後、利用者さんや地域のみなさんから寄せ

られる声を真摯に受け止め、改善方法を相談・検討し、問題解決にあたる事業所利用委員会を目標として活動していきます。

事業所利用委員会

河田 洋佑



特養ちあきの状況を確認中



特養ちあきの安全確保訓練



老健ちあきの対策本部

## 東海北陸看護学生のつどい

### イタイイタイ病被害者の声を聴いて

8月23～24日、東海北陸6県の看護奨学生が富山国際会議場に集い、学



学び、発表する貴重な機会に

生たちは事前に行う企画や役割を話し合い、準備を重ねてきました。

印象的だったのは、みよさんが母や義母と同じく病に苦しみ、子の成長を見守れなかったこと、何度も骨折を繰り返して、30cmの身長が縮小、寝たきりの生活を送ったという現実でした。学生たちは「経済優先の社会が被害の解明を遅らせた」という歴史を学びつつ、看護職として自分たちに何

ができるかを真剣に考える貴重な機会となりました。毎年開かれるこの会は、視野が広がり、グループで考え、発表することにより民医連の奨学生として成長していける場となっています。

師長室 沢田 美名

## 〈看護師研修〉

## オムツの正しいあて方を研修

9月4日、アテントの石郷さんに来ていただき、正しいオムツのあて方の研修をしました。オムツのパットもど

進化しています。吸収速度が速くなり、患者さんの皮膚に負担がかからないよう工夫されていたり、リハビリパンツに装

着できる吸収量の多いパットも開発されています。

研修では実際にパットの吸収量や吸収速度を見てもらい、臨床現場でパットの無駄使いをなくしたり、それぞれの患者さんに合ったパットを選択してもらえように学びました。また、どのようにオムツをあてると不快でないか、漏れずにあ

てられるかなど実技で研修しました。

参加した職員には、オムツのギャザーをしっかりと立てて、漏れを防ぐことが大切だと理解してもらえたと思います。また、実際に自分たちも着用してみることで、患者さんの不快な気持ちや、あて方が正しくないとお腹周りが苦しくなることも体験できました。

最後は、部署でのオムツに関する困りごとを聞いてもらい、対応策なども教えていただきました。各部署で伝達講習ができるといいと考えています。

千秋病院 B2病棟

師長 山内 渚



オムツの性能を確認



職員が実際に体験